

より安全な清掃活動をめざして!!

代表者 大西 俊輝 (教育学部学校教育教員養成課程 2 年)

1. 目的と概要

このプロジェクト事業は、大学周辺の美化、地域への貢献、地域の方や学生との交流、学生・地域の方の意識改革を目的とするものです。毎週火曜日朝 7:30~8:30 の大学周辺の歩道の清掃や、毎週木曜日 12:30~13:00 に学内での清掃、定期的な大掃除を行います。また集まった枯葉は腐葉土が出来るようにしていきます。



2. 実施期間 (実施日)

- 毎週火曜日 7:30~8:30 大学周辺清掃
- 毎週木曜日 12:30~13:00 学内清掃
- 12月7日 大掃除

3. 成果の内容及びその分析・評価等

SUN(香川大学教育学部学生連合ネットワーク)は以下の5つの活動を実施しました。

1つ目は毎週火曜日の朝7:30~8:30に行う清掃活動です。夏はTシャツやポロシャツ、冬はジャンパー(大学名入り)を着用して行い、これは交通量の多い場所で行う活動ということで安全への配慮であり、活動の宣伝にもなっています。SUNのメンバーを中心に学部を問わず、香川大学の学生・職員、放送大学の学生、地域の方が参加して活動しています。



【12/7 大掃除風景】

2つ目は定期的に行う大掃除です。最近では4月29日(火)<昭和の日>や12月7日(日)に行いました。上記の朝清掃に参加してくれている方々に加え学長や香川県知事、その他多くの学生が参加してくださり、4月29日の大掃除では参加者50人という大規模な清掃を成功させることができました。12月7日の大掃除では地域の町内清掃と日程が重なってしまい、地域からの参加者が減ってしまいましたが、町内清掃できれいになった場所を含めると結果として広い範囲を美化することができたと思います。今年度も引き続き参加人数を増やし、活動を充実させていきたいと思います。



3つ目は広報です。朝清掃や大掃除の参加呼びかけやその活動報告、ポイ捨て禁止の呼びかけなどを行いました。活動報告は写真や文章を用いてSUN掲示板にて行います。また、参加者の呼びかけのため、友達を誘ったり、メールをしたり、ポスターを貼ったりしました。今回の大掃除では学務にお願いして教育学部生にメールを流して頂いたので、そのメールを見て参加してくれた方もいました。

4つ目は清掃で集めた落ち葉の再利用です。これまでは燃えるゴミとして捨てていた落ち葉を今年度からは腐葉土化しようと考えました。腐葉土にするために、大学と交渉し、現在1号館付近の林の中に落ち葉を集め、腐葉土にしていこうということで見通しがたち、まずは実験的に腐葉土にしていこうということを考えています。出来た腐葉土は、教育学部理科研究室の持つ畑に入れて使ってもらいます。今後多くの腐葉土が出来ていけば、学内の花壇や地域の方、近隣の施設にも使ってもらえるようにしていきたいと思います。

5つ目は昼休みの時間を使った学内でのゴミ拾いです。朝の清掃は活動時間が早いことや、遠くから通っているため参加が難しいなどの理由で学生の参加が伸び悩んでいます。昼休みに行くことでより多くの学生の参加を期待しました。友達や知り合いを誘うなどして少しずつ参加者が増え、散歩がてらの清掃というような楽しい雰囲気で行っています。また、その活動を見て「捨てない気持ち」を持ってもらい、学内を綺麗にしたいというねらいもあります。



4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

香川大学周辺が、掃除をすることにより綺麗になり、香川大学の学生だけでなく、香川大学の周辺に通学・通勤する方に気持ちよく生活していただくことができたと思います。また、この活動の活動時間は多くの人の通勤・通学の時間でもあります。そのことによって事故の恐れなど、危険は伴いますが、掃除をしている姿を見てもらうことで、捨てない気持ちを持ってもらうことができたと思います。これは地域への貢献活動でもあり、みなさんの意識を変える活動でもあります。現在この活動は多くの方に認められています。かがアドにもこの活動は取り上げられました。



【かがアド掲載】

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

清掃活動を通して地域の方や新しいメンバーと知り合い、一緒に活動することが出来ました。この交流は私たちにとって良い刺激となりました。普段生活しているだけでは会えない人、ゆっくり話す機会がなかった人とも清掃をしながら関わる事が出来、よい機会になっています。また、ボランティアについて考えることとともにボランティアの精神を身につけることも出来ました。朝早起きをする事の達成感や清掃することの気持ち良さ、継続する力、様々な立場の人と関わっていく社交性など、掃除を通して一人ひとりが何かを得てくれたと思います。

6. 反省点・今後の抱負（計画）・感想等

今年度の清掃ではこれまで教育学部が中心となっていた活動に経済学部の学生も積極的に参加してくれるようになり、活性化しました。継続して参加してくれとても嬉しく思います。しかし、参加人数としては少なくなっています。強制的にではなく、自主性を尊重した活動にしていきたいので難しくもありますが、多くの人数であればハリもあり、より充実した活動にしていけると思います。この清掃活動は外部からも高い評価を受け、長年続いてきているものなので、もっと活動を工夫したり、より参加者にとって魅力のある活動にしていきたいと思います。



7. 実施メンバー

代表者 大西俊輝（教育学部2年）

構成員 井上知佳（教育学部2年）

小笠寛幸（経済学部1年）

上野裕邦（教育学部3年）

折田祐希（教育学部3年）